



津波高・浸水域図をご覧頂くにあたって

- ・国が公表した複数の推計結果のうち、沼津市での津波による浸水面積(浸水深1cm以上)が最大となる浸水域図を掲載しています。
- ・国から提供されたデータのため、一部画像が粗くなっています。
- ・色付けのされていない地域への浸水は、想定されませんでした。
- ・静岡県が今後示す第4次地震被害想定では、浸水域などが変わる可能性があります。

国による「南海トラフ巨大地震の津波高・浸水域等の推計」

8月29日に、国の「南海トラフ巨大地震モデル検討会」において、津波高及び浸水域等の推計結果が公表されました。その概要は、広報ぬまづ9月15日号に掲載したところですが、今回津波による浸水域等についての新たな情報が示されたのでお知らせします。

☎危機管理課 ☎055-934-4803

◆推計結果について

今回、国が公表した推計結果は、

- ・東日本大震災の教訓からあらゆる可能性を考えた最大クラスの地震・津波を推計したもので、10m四方単位の細かな地形変化を反映しています。
- ・千年から数千年に一度、まれに発生する可能性がある巨大地震・津波の推計値です。

※平成13年に静岡県が公表した第3次地震被害想定は、100年から150年周期の地震・津波を推計したもので、今回の国の推計値とは前提条件が異なります。

<沼津市における国の推計結果の概要>

最大震度	6強
最大津波高(場所)	約10m(西浦古宇)
浸水面積(浸水深1cm以上)	6.2km ²

◆今後の対応について

静岡県では・・・

国が計算に用いたデータ等の提供を受け、国の計算結果との整合を図りながら、平成25年6月に第4次地震被害想定を次の2つの被害想定で市町単位で公表する予定です。

- ①千年から数千年に一度、まれに発生する可能性がある巨大地震・津波
- ②100年から150年周期で繰り返し発生し、大きな被害をもたらす地震・津波

沼津市では・・・

第4次地震被害想定が公表されるまでの間は、「津波避難訓練対象区域」を中心に市内全域で取り組んでいる緊急地震・津波対策を推進し、第4次地震被害想定公表後には、あらためて市民の皆さんに推計結果等をお知らせするとともに、現在進めている地震・津波対策を見直していきます。

! 自然の脅威である津波からの被害を軽減するためには、市民一人ひとりの迅速かつ主体的な避難が基本となりますので、少しでも早く、少しでも高い場所への避難を心がけて下さい。

南海トラフとは？

駿河湾から九州東方沖の海底にのびる水深4,000m級の深い溝のことで、非常に活発で大規模な地震発生帯です。

浸水深とは？

津波が押し寄せた時の、その地点における水面から地面までの深さのことです。